



田んぼの学校 ～稲刈り体験～

9月29日(金)、地域にお住いの北川伸治さんにお世話になっている「田んぼの学校」で、稲刈りの体験学習を行いました。稲を刈るのが初めての児童が多く、鎌の使い方に手こずっていましたが、コツをつかむとスムーズに手早く稲を刈っていました。

その後、コンバインでの稲刈りを見せていただき、その速さに子どもたちは驚いていました。



そして先日、北村さんに精米をしていただき、1kgずつ袋に分けていただいた白米を、児童一人一人にいただきました。さらに、給食用のお米として30kgの玄米もいただきました。

新米をいただく給食が楽しみですね！

第2学期 スタート！

2学期がスタートして2週間が経ちました。始業式では、体育大会での成長と陸上記録会での活躍ぶりを話しました。

その後「世界にはばたこう 杳見っ子」のスローガンのように、世界で活躍できる大人に成長して欲しい願いも込めて、夏休みに中国へ訪問したときの写真や動画を子どもたちに披露しました。中国(台州市)は、高層ビルが建ち並んでいました。中国の生活習慣や食事、学校の様子など写真を数々見せました。子どもたちが1番興味を持ったのは、カンフーの動画のようでした。杳見小学校の児童も何か一つ自分に得意なものを身に付けて、大きく成長して行って欲しいと思います



「さくら こまち 和楽団」

10月18日(水)、敦賀西小学校で行われた「文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－」に参加しました。

演奏は「さくら こまち 和楽団」です。「さくら こまち 和楽団」は、女性のみで構成され、日本の伝統的な楽器である箏・三弦(三味線)、尺八、薩摩琵琶、津軽三味線などを中心に、民謡などを加え魅力あふれる芸術・エンターテインメントを創造してくれる和楽団です。「さくらこまち」オリジナル曲をオープニングに、日本の昔からの音楽「さくらさくら」や「春の海」子どもたちとの合奏「わらべうたメドレー」、そして子どもたちがよく知っている「アナと雪の女王」や「ジブリ・メドレー」など子どもたちが集中して聴けるすばらしい演奏を数多く披露していただきました。フィナーレの「夢の輪」の演奏を終えたときには、会場いっぱい



にわき起こる拍手を贈っていました。

【子どもたちの感想】

《1年生》

- ・どのきょくもたのしかったけれど、やっぱりおわりのきょくがよかったです。さいごのところのがっきが「じゃん」となって、こころのなかで「うわ、すごい」とおもいました。(たき あかり)
- ・おとがはやくなったり、おそくなったり、たかくなったり、ひくくなったりして、びっくりしました。ラピユタやトトロのきょくがとてもおもしろかったです。(たかだ そうすけ)

《2年生》

- ・ソーラン節が1番心にひびきました。わけは、カッコよかったのといっぱい元気が出せたのですごくたのしかったからです。ビワのがっきとしゃくはちのがっきとしのぶえを1回えんそうしてみたいです。(うめもと いっそう)
- ・みなさんのやさしい音やひびく音がこころにのこりました。1番すきなおんがくは「となりのトトロ」でした。うたをうたう人は、やさしくなったり大きく声を出したりしてすごいなあと思いました。(ひえ田 天あら)

《3年生》

- ・さくらこまち和楽団のがっきでべん強になったことは、いろんな所を動かす音と音が代わることです。すごいと思った所は、手や体など全身を使ってえんそうをしていたことです。(酒井 暖)
- ・さくらこまち和楽団のおかげで、沓見小学校全員がしあわせになれたと思います。今までの思い出より1番の思い出になりました。みなさんの指の動きがすばやかかったです。すごいなあと思いました。(上山 そうし)

《4年生》

- ・1番心に残ったのは「ジブリ・メドレー」です。知らない曲もあったけれど、ラピユタの曲があったからです。映画の時より盛り上がっている感じがしました。やっぱり和楽器の演奏は、外国の楽器よりいい音がする気がしました。ソーラン節をおどってみたかったです。(高木 智生)
- ・1番心に残ったのは「ジブリ・メドレー」の曲です。歌を歌う人がとてもきれいな歌声だし、楽器を演奏する人は、強弱に気をつけたり、自分が演奏するところを指揮者がいなくても演奏していたりしてとてもすごかったです。(大門 音)

《5年生》

- ・今日は、美しい演奏をしてくださってありがとうございました。知らなかった和楽器も知ることができて良かったです。知っている曲もあって楽しんで聴けました。これからも頑張りたいと思います。(佐野 瑚幸)
- ・今日は、きれいな音色を聴かせていただきありがとうございました。指揮者もいないのにあんなにそろっていたので、とてもすごいと思いました。和楽器のこともより深く分かったので良かったです。(角野 結人)

【子どもたちの感想】 《6年生》

- ・「ジブリ・メドレー」の曲をいっしょに歌ったのが楽しかったです。琴は知っていたけれど、十三弦と十七弦があることは初めて知りました。ジブリの曲を日本の楽器で演奏しているのが、心に残りました。(今野 大輝)
- ・太鼓や琴、びわ、三味線、尺八、しの笛などいろいろな和楽器があったので、すごいと思いました。その中でも私の心に残ったのは、尺八です。顔を動かすことで音が変わるなんて、びっくりしたし、すごいと思いました。(鳥山 心羽)



(和楽団の人と一緒に歌う児童)

和楽器による生の演奏は、子どもたちの心に本当に響きました。学校に帰ってきて、笑顔が消えず、曲を口ずさむ子どもも多かったです。

また、教員にとっても演奏会の進行の仕方や子どもたちを交えた歌や演奏など、学ぶべきことが多かった盛りだくさんの内容でした。

鑑賞した子どもたちも教員も、心が「ホッ」とする、笑顔が絶えない楽しい時間を過ごすことができました。

「2年生 親子のつどい」



10月21日(土)、「ささえたまご農園」で2年生が親子のつどいを行いました。「卵かけごはんプリン」作りチャレンジしました。子どもたちは、ごはんが上手く炊けるように火加減を工夫していました。プリンもお家の人と協力をして、卵や牛乳、砂糖をよくかき混ぜていてねいに調理していました。

出来上がった卵かけごはんプリンをみんなでおいしくいただきました。

親子で楽しんだ調理教室は、楽しい会話や笑顔があり、思い出に残る1日となりました。

沓見区敬老会に参加しました！

10月21日(土)、沓見区の敬老会に4年生児童11名が参加しました。出し物の目玉は、楽器合奏&ボーカルの「花は咲く」そしてみんなでおそろいの法被を着て踊る「ソーラン節」でした。みんなの力を合わせて、本番では練習以上の力を発揮し、最高の演奏ができました。最後に披露したソーラン節は、最後のポーズを決めて「ヤー」のかけ声が終わるとすぐに、大広間全体に響きわたる大きな拍手がわき起こりました。沓見区敬老会の皆様に元気を与えることができた素晴らしい発表だったと思います。

「地域の行事に積極的に参加する」目標を見事に果たした4年生です。



秋の校外学習！

【1年生 沓見湿原】

10月24日（火）、1年生が生活科の学習で、沓見湿原に出かけました。春の旗護山登山に続いて、今回も地元沓見の自然とふるさとを探しに行きました。自然観察指導員の北村伸治さんに案内していただき、湿原の花や植物の名前を教えてくださいました。その後、地域にお住いの柴田邦彦さんにご指導いただき、いろいろな花の絵を描きました。子どもたち一人一人がしっかり花を観察し、すばらしい作品に仕上げていました。天候にも恵まれ、ふるさと沓見の田園風景を満喫しました。



【3年生 バロー木崎店 見学】



10月24日（火）、3年生が社会科の「人々のしごととわたしたちの暮らし」の授業でスーパーマーケット「バロー木崎店」に行きました。働く人々の様子や工夫についてインタビューをしながら学習しました。また、実際に買い物も行い、品質と金額を比べたり、より必要とされる商品を選んだりもしました。働く人の大変さや上手な買い物の仕方について学ぶことができました。

【PTA教育講演会&オーフンスクールのお知らせ】

11月11日（土）、「夢をもとう 一歩ふみだそう そして 世界にはばたこう」を演題に、日本身体障がい者水泳連盟競技技術委員の酒井 正人氏を講師に招いて、講演を行います。時間は、9時45分からです。

当日は、8時30分から授業参観も行いますので、ぜひご出席ください。